

渋沢地区社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

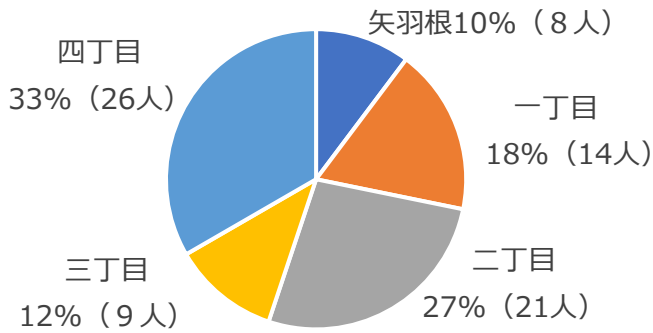
先に実施しました「まちづくりアンケート」の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。ご回答ありがとうございました。

アンケート結果は、今後の地区社協の活動の参考とさせていただきます。

また、他にご意見やご提案等ございましたら、地区社協にご連絡ください。

渋沢地区社会福祉協議会 会長 河村 康司

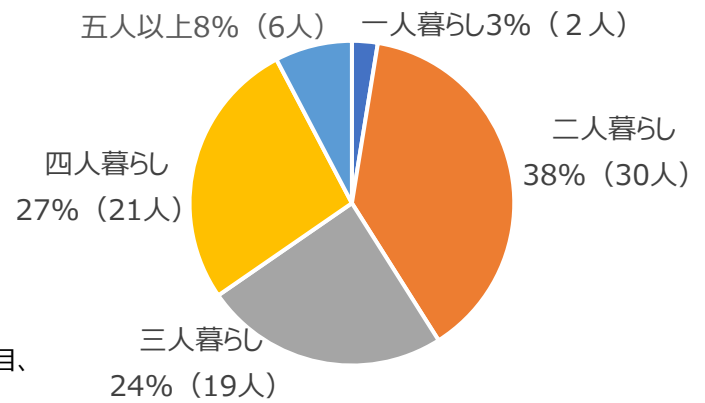
問1：あなたのお住まいの自治会はどれか教えてください



自治会別回答数では、四丁目が一番多く26人でした。二丁目、一丁目、三丁目、矢羽根の順番でした。

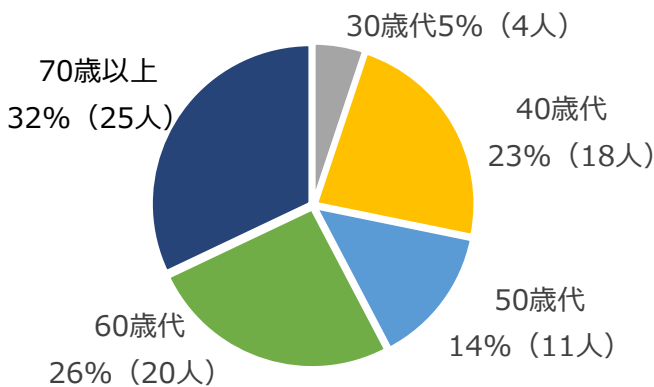
なお、自治会員数(1,569人)に対する回答率は、矢羽根が11%、一丁目が4%、二丁目が7%、三丁目が3%、四丁目が6%でした。

問2：あなたの家族構成を教えてください



二人暮らし世帯からの回答が一番多く30名、反対に一人暮らしの方からの回答は2名でした。

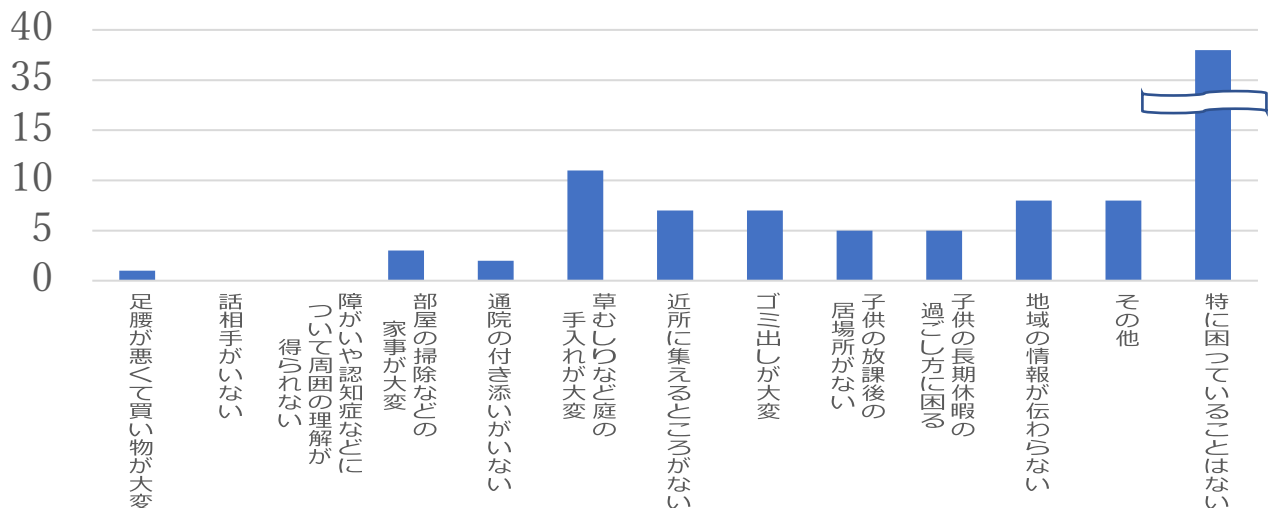
問3：あなたの年齢を教えてください



60歳以上の方からの回答が、全体の6割近くを占めています。働き世代である40代、50代の方からの回答も4割弱ありました。30歳代以下の回答が少なく今後の課題です。

問4：渋沢地区で生活するうえで、困ったと感じることはありますか？

ちょっと困ったときに地域の手助けをしてもらいたいことなどありましたら教えてください。



雑草取りやゴミ出しなどの「ちょっとしたお手伝い」を希望する方が多く、次いで「近所に集える場所がない」「地域の情報が伝わらない」の順になっています。子どもに関しては、「放課後等の居場所がない」「長期休暇の過ごし方」に困っている声が、合計 10 件ありました。

「困っていることはない」の回答が圧倒的に多いですが、自由記述には「先々不安」「一人暮らしのため災害時に不安」という声も寄せられました。

自由記述等にたくさんの声をお寄せいただきました。

その全てを掲載するのは難しいため、主だった声を項目別にご紹介します。

今後の不安

- ・今は困っていることはないが、災害時や一人暮らしのため、先々不安があります。

ゴミに関すること

- ・ゴミ収集時にルールを守らない人や誤った出し方をする人がいるため、カラスがゴミを荒らす。防止には、啓発活動が大切だし、簡易カメラの設置などルールを徹底する取組の検討が必要だと思います。

情報に関すること

- ・地域のイベント情報などは回覧版など紙による案内では、見たときには既に終了していることがあります。情報取得に時間がかかります。

その他

- ・地区全体で防犯対策をしてほしい。バスが減便となり不便となった。

問 5：渋沢地区の中で、こんなことがあったら便利になる。安心感があると思うことはありますか。

ちょっとしたお手伝い

- ・ちょっとした修繕やお手伝い（ゴミ出し、送迎、保育、話し相手、雑草取りなど）があると良いと思います。
- ・ちょっとした修繕や修理等の依頼をどこにすればよいか迷うので、情報があると助かります。
- ・ワンコイン（500 円）でタクシー代わりの送迎車を利用できる方法があれば助かります（往復 1,000 円）

集える場所・近隣とのつながり

- ・近所に少人数の方が集える場所ができると良い。農園などを活用した多世代交流や、野菜等の販売があれば交流の場にもなると思います。
- ・赤ちゃん会は 0 歳までですが、幼稚園入園まで親子が集まれる赤ちゃん会のような集いがあると良いです。

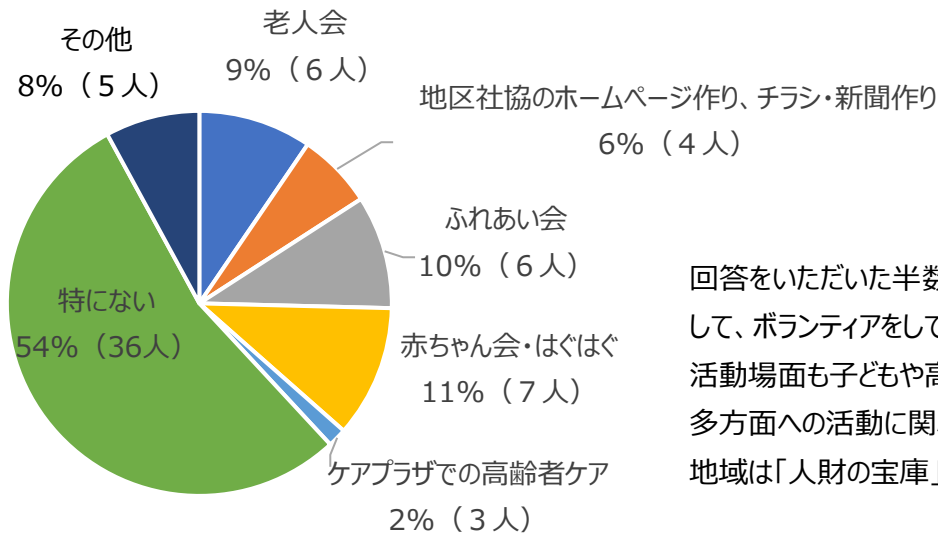
防犯や見守りに関すること

- ・通学路や緑道等での見守り活動があると安心。不審者につつまわれた時などに駆込める場所がわからない。
- ・緊急時に支援を必要とする高齢者がわからない。予め旗やリボンなどを活用すれば、いざというときに支援できる。

環境美化等に関すること

- ・豊かな緑を保全するにも清掃活動が必要です。地区毎に大人と子どもがチームになり集めた重さで表彰する。町内対抗などイベント的要素を取り入れてはどうでしょうか。

問6：あなたの技術・経験・趣味をいかして、地域貢献・ボランティアをしてみませんか？



回答をいただいた半数近くの方が、技術や特技を活かして、ボランティアをしても良いと回答がありました。活動場面も子どもや高齢者、ホームページ作成など、多方面への活動に関心が寄せられました。地域は「人財の宝庫」です。

<その他のご意見>

- ・子どもや外国人の学習補助。外国人との共生の場作り。
- ・ピアノ。敬老会等でBGMや懐メロ、童謡の演奏。書道。清掃活動。

問7：子どもと高齢者の交流の場作りを企画したいのですが、あなたのお考えがありましたら聞かせてください。

イベント等の開催

- ・中学生、高校生などと地域住民の交流（ちょっとしたイベント）。
- ・畑での野菜作り体験。収穫後などには美味しいものを一緒に食べる。
- ・リモート交流会。ゴミ拾い大会。
- ・介護施設と幼児施設との交流。施設やコミュニティハウスとの連携。
- ・都筑区や渋沢地区の歴史等を知る。
- ・町内清掃後などには、ちょっとしたコーヒータイムを用意。

昔遊び

- ・昔の遊び（竹馬、お手玉、竹とんぼ、こまなど）や、食事などを一緒に作ったり食べたり、遊んだり、今の子どもたちも楽しめると思うし、多世代交流にもなると思います。

企画するにあたり・・・

- ・年寄りと子供を繋ぐのは大変。自治会がアイデア出すことが重要。若い世代が入りやすい環境を作る必要がある。
- ・特別な企画よりも、公園や自治会館などで、子どもたちの遊びを見守るような内容の方が参加させやすい。
- ・社会で次代を担う子供達に伝統や文化を伝え、地域での親密な人間関係を作る意味でも高齢者との交流は大変意義がある。ただ、最近の子供達を取り巻く環境はとてもナーバスなため、慎重に取り組む必要があります。

渋沢地区の活動紹介

地域に住む全ての方が、「安心して暮らせるまち」を目指し、福祉促進活動をすすめ、見守り活動や地域の居場所づくり活動などを行っています。

- ・鴨池公園こどもログハウスによる「おちばひろい」などの事業の応援。

※一部の地域で、ログハウス利用の子供たちに年賀状を書いてもらい、元旦に高齢者のお宅へお届けしました。

- ・「井戸端クラブ」と「外あそび いく」のコラボ企画を実施。

※荏田東2丁目では毎月野菜・焼き芋販売等を行っています。その時間に公園遊びを企画し、お子さんとの異世代交流ができました。

- ・高齢者居場所づくり活動「ふれあい会」の応援。
- ・民生委員児童委員による「見守り訪問活動」の応援。
- ・まちづくりアンケートの集計と今後の方針等を協議。
- ・他多数。

しかしコロナウイルス感染拡大で思うように活動ができませんでした。

- ・地区社協活動運営財源のための賛助会への入会運動。



▲「井戸端クラブ」と「外あそび いく」のコラボ企画

アンケート結果を受けて、今後、実施したいこと

- ・子どもたちの見守り活動をさらに広める。

※ログハウスでの「おちばひろい」、つづきの丘コミュニティハウスでの「赤ちゃん会」、「外あそび 行く」等の活動にかかわりをもって応援する。

「おちばひろい」・・・秋にログハウスで開催。

「赤ちゃん会」・・・渋沢自治会館にて、毎月第3水曜日

10:00~11:00 (8月はお休み)

「井戸端クラブ」・・・毎月第4水曜日 1:30~(野菜、焼き芋の販売)

「外あそび 行く」・・・毎月いろんな公園で開催。「井戸端クラブ」との

コラボも予定。(8月1月はお休み)



▲「おちばひろい」の様子
地域の方による手品披露

- ・ボランティアグループ「ほほえみの会」の活動をさらに広める。

※高齢者宅の庭の草取りや庭木の剪定、クリニックへの付き添いなど、お困りごとに対応しています。

・・・葛が谷ケアプラザにて、毎月第1月曜日打ち合わせ会議を実施。

- ・地区内の高齢者施設や渋沢自治会館等で定期的に幼児と

高齢者が集える場所づくりの取り組みを勧める。

- ・地区社協活動と一緒に取り組んでくださるサポーターを増やす。

※サポーター募集中!

- ・情報をスピーディーにお届けできるように渋沢社協の

ホームページの作成や、新たな情報発信の方法を検討する。

- ・コロナウイルス感染症により縮小・中止となった活動を以前の状態に戻せるようにしていきます。



「ほほえみの会」
◀草取りの様子

庭木剪定の様子 ▶

<まとめ>

令和4年度以降の活動は、住民同士が寄り添う地域を目指し、「井戸端クラブ」のような、より多くの住民が参加できる場所増やしていきます。

これからも、皆様方のより一層のご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。